

# 2025年9月例会報告

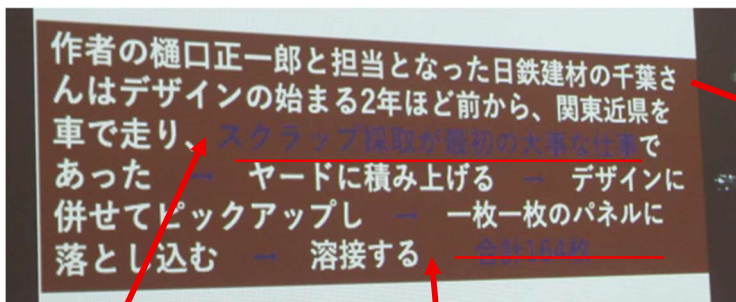
- 1.開催日： 2025年（令和7年）9月25日（木曜日）13:30～15:30
- 2.会 場： 門前仲町駅 フカガワガレージ
- 3.講 師： 樋口 正一郎氏
- 4.講演テーマ： 『大江戸線「清澄白河駅構内壁画」樋口正一郎作』  
～世界の地下鉄も見て来て～
- 5.参加者： 小川(啓)、小川(俊)、矢口、松崎、小池、宮崎、長谷川、  
角田、後藤、泉、熊田、内田、来間、細越、桑原夫妻、後藤、  
鳥谷部、西郷、千葉、梅澤、講師夫妻（23名敬称略 赤は非会員）



スライドを見ながら説明中の講師

秋日和の一日を、清澄白河駅ホームの164枚の壁画を制作された樋口正一郎先生にご案内頂く企画から始まりました。皆さんが集まる迄の30分間は終了後に見学をする駅の壁画のスライドを流して下さり、講演会の雰囲気作りをして下さいました。非会員で参加して下さいの方が、製作段階で先生と苦楽を共にして下さいった3名（千葉、西郷、梅澤）で同窓会も兼ねて集まって下さったそうです。壁画の見学では個々の方の苦労話が聞けて、会員がそれぞれに楽しんだのではと思われました。

世界の地下鉄をプロジェクターで紹介頂き、日本でのアートの捉え方の違い、ゲートを作る、入口は神に祝福されているという社会と繋がる作品を先生は手掛けたいと力説されていました。



スクラップ採取が最初の大事な仕事  
合計164枚



フカガワガレージで講演を聞く皆さん

門前仲町駅から清澄白河駅へ一駅移動して、駅構内の壁画を見学しました。

（文・写真；宮崎知子）

